



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 1-2-7 HARUOKA CHIKUSAKU NAGOYA 464-0848 JAPAN

国際会長主題	「Y' s Men with the World' 」	「世界とともにワイズメン」
スローガン	「Heal the World with Love and Dignity」	「愛と尊厳で世界を癒そう」
アジア太平洋地域主題	「Make a difference」	「変化をもたらそう」
西日本区理事主題	「Challenges for the future 未来への挑戦」	
中部部長主題	「楽しくやろう ワイズの活動 地域とYMCAと共に」	
クラブ会長主題	「YMCAに笑顔を。ワイズに笑顔を。そしてみんなに笑顔を」	

がんばれ日本 がんばるワイズ

2021年7月

—<今月の聖句>—

あなたがたは今まで、何もわたしの名によって求めたことはありません。
求めなさい。そうすれば受けるのです。それはあなたがたの喜びが満ち満ちたものとなるためです

ヨハネによる福音書 16:24

クラブホームページ <http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/grampus2020-2021.pdf>

2021年7月例会・他ご案内

@7月第1例会・WEB例会(担当 服部)

とき：7月8日(木) 20:00～

ところ：ZOOM例会

- ・新年度クラブ体制について
- ・2020年度会計報告と活動方針説明
- ・ZOOMは事前に荒川君より案内あり

@7月第2例会・WEB例会(担当 服部)

とき：7月22日(木) 20:00～

ところ：ZOOM例会

@日和田キャンプ場オープニング支援

とき：7月10日(土)～11日(日)

ところ：名古屋YMCA日和田キャンプ場

@2021年度日和田学童キャンプ支援

とき：

1期 7月26日(月)～7月31日(土)

2期 8月2日(月)～8月7日(土)

ところ：YMCA日和田高原キャンプ場

注：ボランティア開始 2週間前から体調の管理、感染リスクの高い場所へ行くことを控えてください。

6月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(月)	
在 席 者	15名	第 1 例 会	12名	当 月・切 手	-	ニコ BOX ノート	-	
例会出席者	13名	第 2 例 会	13名	当 月・現 金	-	感 謝 ファンド	-	
当月出席率	86.7%	そ の 他	7名	累 計	-	累 計	-	

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
＝強い義務感を持つ。義務はすべての権利に伴う

「YMCAに笑顔。ワイズに笑顔。 そしてみんなに笑顔。」

2021-2022 年度会長 服部庄三



今年度のクラブの主題です。活動を通してYMCAをサポートし、そこに集うワイズも互いに高め合い、世の中のみんなが笑顔になれるよう今年一年頑張りたいと思います。1992年8月31日にチャーターしたグランパスは来年8月には30周年となります。

30年間の総括をし、来期につなげていきましょう。支援を続けている日本語学院も、今年はコロナ禍で数々の障害があり、思うように活動が出来ませんでした。今年度もいつ世の中が落ち着くかは、まだまだ不透明ですが計画、準備は進めていきたいと思えます。グランパスが主体となっている日和田キャンプ場での様々な催しの協力も、他クラブを巻き込んで引き続き活動していきましょう。

クラブ例会は可能な限り、卓話や勉強会など興味深いものにしたいと思います。また社会的にはセカンド・ハーベスト等の活動への協力を模索したいと思います。

最後に今年度一年皆さんの支援協力をよろしくお願いたします。

会長一年を振り返って

2020-2021 年度会長 坂口功祐

一年は早いものであっという間に過ぎてしまいました。初め会長をご指名頂いたときはこの職を全うできるか大変心配しました。しかしコロナ禍でなるべく皆様に顔を合わせることを作る事に専念しまして新年度発足式を東山荘で無謀かもしれませんが一泊例会を実施しました。

東山荘スタッフ皆さんのソーシャルディスタンス対応のお陰無事出来ましたこと大変感謝します。その後も皆様の協力で日和田学童キャンプサポート日本語学院支援、クリスマス例会、名古屋ワイズ合同例会、リーダートレーニングサポート、ロシアとのIBC等も行うことができました。

またコロナのお陰様で第二例会を便利なZoom例会で行い皆様全員近い熱心な参加もできました。最後に西日本大会にて「YMCA サービス・ユース事業優秀クラブ賞」「Yサ・ユース献金100%達成クラブ賞」を我がクラブが頂きました。

皆様の熱心なるワイズ活動の賜物と考えます。最後に皆様と気軽に顔を合わせて活動できる日が一日でも早く訪れる事を祈ってしめさせていただきます。本当に一年間ありがとうございました。また来期に向かって頑張りましょう！

第1例会・オンライン例会議事録

日時：6月11日（火）20:00～

場所：ZOOM 例会

出席者：坂口・荒川・早川・吉田・三井・遠藤

信田・高田・坂野・服部・下村・青木

欠席者：阿部・原・松原

書記：下村 明子

「内容」

- 1-1 **ワイズ関係の動き報告** 早川中部部長
 - ・西日本区大会参加。グランパスクラブはYサ・ユース事業で優秀賞受賞。
 - ・当日の部長報告は急きょ発表スタイルが変更となり、スムーズに進行ができなかったため、本日発表用のスライドをメンバーで鑑賞した。
 - ・中部評議会は明日6月12日（土）
- 1-2 **全国YMCA、名古屋YMCA報告** 遠藤
 - ・学童キャンプは現時点150名の予約が入っている7月10日～11日（土日）の日和田オープニングワークにも協力を。
- 1-3 **7月第一例会について** 服部
 - ・1泊例会は中止でオンライン例会とする。
 - ・来期例会開催曜日は、毎月第一木曜日と第三木曜日に変更。開催場所は日本語学院だが当面はオンラインにて。
 - ・7月第一例会のみ8日（第二木曜日）とする。
- 1-4 **日本語学院支援について** 吉田
 - ・留学生と交流が持てないため、セカンドハーベスト支援以外は進展なし。
 - ・セカンドハーベストの支援日が決まり次第日程を共有。今週か来週の水曜日が。
 - ・留学生との交流でピクニックを計画したい。
- 1-5 **秋のDBC交流会 京都東稜クラブ** 松原
 - ・クラブ1泊例会を中止したので、交流会を1泊で開催したい。
 - ・ホストは東稜クラブ。吉本へ行きたいという声もある。
- 1-6 **現時点でのブリテン記事依頼** 三井
 - ・新年度の抱負（服部新会長）

第2例会・オンライン例会議事録



日時：6月15日（火）20:00～21:30

場所：ZOOM 例会

出席者：坂口・早川・荒川・遠藤・服部・三井・高田・阿部・坂野・吉田・下村・原・松原

欠席者：信田・青木

書記：下村 明子

「内容」

1-1 ワイズ関係の動き報告 早川中部部長

- ・西日本区 CS 事業で京都東稜クラブが地域奉仕環境特別賞を表彰された。祝電のメールを坂口会長より発信予定
- ・第4回中部評議会は6月12日（土）開催された
- ・今期の議案は5号議案以外はすべて承認された。ただし、第5号議案（中部特別会計創立）は継続協議となった。

1-2 全国YMCA、名古屋YMCA報告 遠藤

- ・学童キャンプ申込は、本日時点で200名程。
- ・6月の名古屋青年に学童キャンプ支援について記事を掲載（中井さん）。
- ・7月のオープニングワークにご協力を。
- ・来年1月16日（日）YMCA120周年イベントを計画。
- ・新規の刈谷市保育園事業が進行中。来年3月にオープン予定。

1-3 7月第一例会について 服部

- ・7月8日（木）午後8時よりオンラインにて。
- ・服部次期会長より通常一泊例会で行なう内容を簡潔に執り行なう。来期の事業計画に併せて今期の会計報告も行なう。事業計画の資料は服部次期会長より事前にメール配信。
- ・7月第2例会は特例として7月22日（木）午後20時からの予定。オンライン開催。
- ・基本的に2021年度の例会開催日は第一例会は第1木曜日、第二例会は第3木曜日とし開始時間は20時の予定とする。
- ・コロナワクチン接種済みとなる8月には一度集まりたいと考えている。

1-4 日本語学院支援について 吉田

- ・6月23日（水）午後1時より日本語学院支援のために、坂口会長と吉田メン、松原メンがセカン

ドハーベスト名古屋を訪問する。

1-5 DBC交流会 京都東稜クラブ 松原
・京都花月に行きたい。こちらの希望をある程度先方へ伝えてはどうか。窓口は服部次期会長と松原メン。次期の東稜担当者はまだ確認していない。

1-6 ブリテン記事依頼 三井
原稿〆切：6月27日（日）
第一例会・第二例会（下村）／次期会長挨拶（服部）／現会長挨拶（坂口）／YMCA たより（遠藤 現中部部長挨拶（早川）／西日本区大会（荒川）
日本語学院支援：セカンドハーベスト訪問（松原または坂口）

1-7 記念事業構想 坂口
・来年ワイズ100周年、クラブ創立30周年となるため、YMCAの要望等を取りながら有益な記念となる事業をしたい。

日本語学院支援・セカンドハーベスト

日時：6月23日（水）

場所：セカンドハーベスト名古屋

出席者：坂口・吉田・松原

セカンドハーベストさんの活動

「食品ロスと食糧支援」

松原行謙



6月23日（水）に一誠さんと坂口会長に同伴し

セカンドハーベスト名古屋（2HN）さんに出向き、会長は自社の食品を寄贈し、2HNさんから日本語学院の留学生のために食糧支援品を頂いてきました。その際、前川理事長さん（先月の第一 ZOOM 例会での卓話講師）より活動の現状をお聞きし、事務所兼倉庫を見学させて頂きました。食品を集め、保管し、配るという一連の作業を 60 名のボランティアさんの協力を得て行っておられます。

例えば食品メーカーとの合意書の締結、冷蔵庫などを利用しての保管状況の適切な管理、QR コードでの情報管理、食品の選択と梱包作業をし、団体支援先には直接食品を引取りに来てもらい、個人支援先にはゆうパックの協力を得ての配送。



というようなことを確実なシステムの下、特に「賞味期限」に気を配りながら食品が安全に行き渡るように地道な作業です。私達が訪問した日は 10 名ほどが活動されており、その様子を目の当たりにし時間管理のもとでのご苦労が伝わってきました。2HN さんは日本語学院に比較的近くにあり運搬も楽でした。



日本語学院のスタッフと協力し 2F の事務所に運び、私たちのサポートも今回任務完了しました。

コロナ禍で留学生は少ないのですが、アルバイト収入も少なく食糧支援は助かります。2HN さん、ありがとうございます。話は飛躍しますが世界有数の飽食の日本に暮らす我々はまた食品廃棄物の総量で世界第 4 位、1 人当たりの食品廃棄物は世界第 6 位、アジアでは第 1 位です。しかも食糧自給率が 38% と低く、そのことも考慮に入れると、如何に世界を食いにしているのか？ その反面、陰に隠れた見えない貧困で飢餓が進行しているという社会・経済システムの矛盾が露呈しています。生産から流通、消費、食品ロスとあらゆる段階で、今すぐ ”食料システム改革” を急がなければ手遅れになると

いわれています。ともあれ個人的にこの問題に関心を持ち続けたく思います。

中部部長の 1 年を省みて

2020 年～2021 年度中部部長 早川 政人

2019 年 11 月に次期役員研修会が開催され次期の古田理事・キャビネット・事業主任・西日本区各部の部長が集まり研修が行われました。2020 年 7 月からの 1 年間で中部のワイズのメンバーと一緒に事業・プログラムを行うかを計画を立てて実行する研修になりました。2019 年 12 月には新型コロナが全国に蔓延しワイズ活動にも影響を与え始めました。2020 年 3 月に次期会長・主査研修会が開催され中部の会長と主査の体制が決まりました。

少しずつ中部部長の活動も増えていきました。2020 年 6 月には西日本区大会が中止になり、西日本区役員引継ぎは WEB で行われました。これは初めての事です。中部の評議会も WEB で私には新しい挑戦になりました。2020 年 7 月からいよいよ部長の活動が始まりました。まず中部部会を開催することが最大で近々の活動ですが止む無く中止を決定しました。YMCA 大会、中部各クラブ訪問はコロナ禍の中時期を見ながら訪問することになりました。

西日本区の役員会は全て ZOOM で参加しました。今期の西日本区役員皆さんの皆さんはご苦労をされたと思います。振り返りますと毎月、西日本区部長ミーティングに参加をして 各部の進行状況や活動の報告を聞くことができ大変参考になりました。又、各部長との話は ZOOM で親しくなり何時か対面できる楽しみも増えました。

今期は主な事業も開催できない状況の中、各クラブへの訪問も少なく中部各クラブメンバーとの対面での機会も少ない状況でした。中部評議会も 4 回 ZOOM で行われました。今期新しい議題にも挑戦しました。又、中部各クラブの活動はこの時期での活動をされている事がブリテンでよく解ります。中部部長としての役目として程遠いと思い反省をしています。尚、中部キャビネットの荒川書記、服部会計、高田事務局長の三方には大変お世話になり感謝いたします。この 1 年間はキャビネットが居なければ部長としての役目は出来なかったと思います。有難うございました。



金沢クラブ部長訪問

I B C締結の記念品をロシアへ



送付したIBC締結書、ステッカー



会長ルーバさんとお孫さんのロマです

記念品の七宝焼きの名古屋城

松原行謙

IBC締結先のロシアのクラブ（サンクトペテルブルク Smena Club とモスクワ Friends Club）に IBC 証明書・取決め事項・七宝焼・ステッカーを送りました。パンデミックのために船便で2か月かかりましたが、先日無事届いたという、お礼のメールが先ずは Smena Club から来ました。



Dear friends !!

We have received your parcel !! Thank you very much ! Send best wishes to all your club members !

Marina Makarova

友達の皆さん!!

私たちはグランパスメンバーの皆さんからの小包いただきました。大変ありがとうございます。

そしてグランパスメンバーの皆さんのご多幸をお祈り申し上げます。

マリーナ マカロバ

次はモスクワの Friends Club から小包のお礼と近況報告です。

Very Dear our friend Gyoken!

We have already received your parcel. Thank you so much!!!

We are happy, that Nagoya Grampus, Smena and Moscow Friends are now Brother Clubs!!! Long live our friendship!

Only some days ago Roma asked me about you - and we have a friendly letter and a parcel with Certificate, nice plate and other presents! Great!!! Our Japanese friends are always in our hearts!.. Here life goes on. Lena, Sasha and Roma had Covid-19, but now they are OK. Medical assistance was very good.

All the members of our club, Lena, Sasha, Roma and me we wish you, dear Gyoken, dear Yoshika and all the friends from Nagoya Grampus - to be happy!!!

With great RESPECT and LOVE -
Lyuba and we all here.

Your health!

とても親愛なる私たちの友人、行謙さま、そしてグランパスメンバーの皆さま！

私達はグランパスさんの小包をいただきました。大変ありがとうございます。

私達はとても幸せです。というのも名古屋 グランパスとサンクトペテルブルク スメナそして私達モスクワフレンズが改めて今まさに兄弟クラブなんですから !!! 私達の友情は永遠に続きます !

まさに数日前わたしの孫のロマが懐かしんで行謙さんや名古屋グランパスさんのことを尋ねたので、私達はいつも親しみあるメールをお互い交わしていること、そして今回は素敵な七宝焼きにステッカー、IBC締結の証明書をいただいたと説明しました。

私達の日本の友人たちはいつも私達の心の中にいます。!

時は今まさにパンデミックのさなかです。私の家族のレナ、サーシャそしてロマがコロナに罹りました。でも今彼らは病院の先生方のお蔭でとてもよくなりました。

フレンズクラブのすべてのメンバーと私の家族レナ、サーシャ、ロマと私は、行謙さん、好伽さんそして名古屋グランパスの全ての友人の皆さんが幸せであられますことをお祈り申し上げます。
大いなる尊敬と多大なる愛のもってー
私しルーバと私たちすべてが共にありますことを。

健康にお気を付けください！



信仰心の厚いフレンズクラブがお祈りをする教会で2Fにミーティングルームがあります

今後とも意思疎通を図り、無理のないお付き合いを続けていきたいと思ひます。

第24回西日本区大会に参加して



開催日：2021年6月5日～6日
場所：ウェスティン都ホテル京都
参加者：荒川+メネ、早川、下村（WEB）

荒川恭次

新型コロナ禍の中、緊急事態宣言下での開催で実行委員会はどんな心持であったのか（翌週の東日本区大会はオールオンライン大会）。少しでもリスクを回避するため、自宅から会場まではメネットと車で移動しました。折しも名二環が湾岸線まで開通したばかりで、新名神も通行車両が少なく会場まで僅か1時間30分のドライブでした。これまで京都へは殆ど新幹線移動で、もし車で行くとすれば一宮IC経由名神で2時間30分以上の行程だったと思ひます。コロナのおかげで新発見でした。

さて、今回の大会は異例づくめで、ホテル内の会場にたどり着くまでの関所は厳重で、誓約書の記入

に始まり、消毒、検温と段階を踏んでの入場となりました。会場内は密を避けるための円卓指定席で、懇親会が始まるのかと思わせる大宴会場に、正面に演壇、周囲6か所にオンライン参加者が映し出



されたスクリーンが配置されていました。主催者側のご苦勞が垣間見えたものです。現地参加者約300名はゆったりと料理の無い円卓を前に、同席者と静かにマスクして会話しました。例年なら動き回って各地のワイズと懇親を深めるところですが、今回はひたすらじっと静かにして時の流れを楽しみました。



第一日目が終われば例年ならば懇親会ですが、今年は会場出口でお弁当を受け取って帰宅またはホ

テルの部屋へ移動です。

何とも後味の悪い幕切れですが、お弁当は最高級品で美味で、部屋のベランダからの京都の風景楽しみながらメネットと冷たいビール飲みながら二人で京の味を楽しみました。

第二日目の部長報告は早川中部部長用に製作した

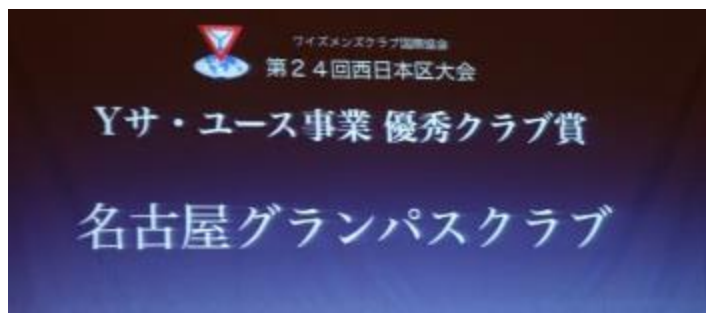


早川中部部長の報告

PPTがBGMと旨く連動できず、今回のシステムの複雑さが原因かと思ひますが、これは後日クラブ例会、中部評議会でキッチリ再演し早川部長もスッキリされたと思ひます。

そして表彰式では、我グランパスクラブが唯一Yサ・ユース優秀クラブ賞を授与されました。新型コロナ禍においても活動を停止することなくYMCAを支援したことが評価されたと思ひます。次に繋がる良いお土産を持ち帰れたと思ひます。そして閉会後は京都東陵クラブの面々と昼食を共にしました。近藤さんお勧めのうどん屋でDBC交流会等の話に花

が咲き楽しいひと時を過ごすことが出来ました。帰路は前夜祭から参加の早川中部部長同乗で渋滞もなく無事名古屋着しました。記憶に残る西日本区大会でした。



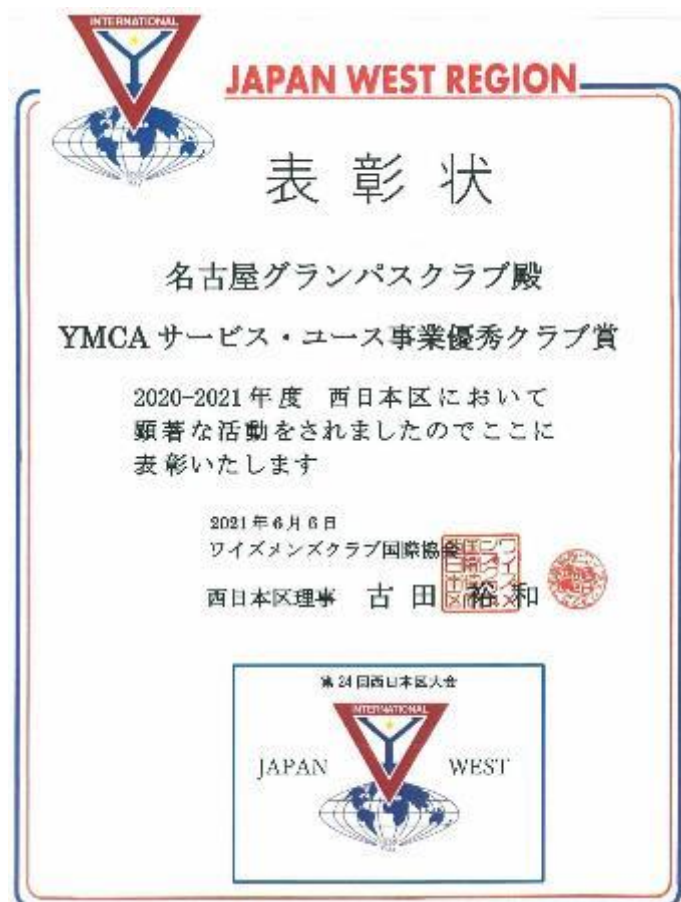
大スクリーンに映し出されたグランパス



YMCAたより

2020-2021 年度クラブ表彰状

- ・「YMCA サービス・ユース事業優秀クラブ賞」と「Yサ・ユース献金 100%達成クラブ賞」を受賞



2020年度のJICAのエッセイコンテストで、野外活動や体操教室のメンバーたった子が最優秀賞を受賞しました。YMCAの国際協力募金が心に残り、募金の話が一つの要素となり、さまざまな思いや行動に移してくれました。YMCAの活動で体験したことがきっかけの一つなり、様々な場面で花開いてくれていることを実感することができ、とても嬉しい出来事となりました。(受賞作文は下記をご覧ください)

7月の予定

- ・日和田キャンプ場オープニング
7/10(土)～11日(日)

2021年度学童キャンプ

- ・1期 7/26(月)～7/31(土)
- ・2期 8/2(月)～8/7(土)
- サポートいただける日程と食事の必要について教えてください。例)8/2夜～8/5昼
- ・国際協力募金は秋に延期になりました。



名古屋グランパスクラブ
担当連絡主事 遠藤美恵子

OJICAのエッセイコンテストO

名古屋YMCAのメンバーが最優秀賞を受賞

- ・下記の独立行政法人国際協力機構優秀賞作品内でYMCAの体験について触れてくれています。



私は名古屋 YMCA で、フィリピンイロイロ市タンバリザ村の映像を見た。「フィリピンでは一年間大学に通うのに五万五千円程度かかる。しかし奨学金制度を利用して大学に通っている学生の総収入は、年間七千円程度だ」という話が印象に残った。名古屋 YMCA とイロイロ YMCA ではタンバリザ村の高校生が大学に進学できるよう、奨学金制度を設けている。自分の力だけでは 貧困から抜け出すことのできない彼らは、奨学金制度により自分の夢に向かって勉強できることをとても感謝しながら楽しんでいる。輝いた目をした彼らの写真と共にその事実は私の心を揺さぶった。私はどうだろう。当たり前のように学校に行き、当たり前のように高校や大学進学を考えている。そのことが当たり前ではなく、恵まれたことだと意識していただろうか。なんだか恥ずかしくなってきた。同じ学生として何か自分にも出来ることはないだろうか。

私は幼少期から名古屋 YMCA の募金活動に参加していたが、ただ何となく参加していたそれまでとは違う意識でタンバリザ村の高校生の大学支援やその他の募金活動に参加するようになった。すると、自分のひとつひとつの呼びかけに、より気持ちがこもるようになり、気づいたら誰よりも大きな声で明るく呼びかけていた。募金活動を通し、様々な現実、そしてその力になることに関心を持つこと、持ってもらえることが大切だと痛感した。

この経験をきっかけに、生徒会長でもあった私は、中学校で毎年行われる募金活動を、従来の生徒会執行部のみで行うのではなく、全校生徒が誰でも参加できるボランティア型の募金活動とする発案をした。まずは「何かの力になれること」に関心を持って貰う為だ。すると予想外の数の生徒達が参加してくれた。参加してくれた友人達には、「自分が募金を呼びかける立場にたつと、より関心を持つことが出来るし気持ちも違う。また何か機会があれば参加したい。」と声をかけられた。私は嬉しかった。そして自分から小さな発信をすることが大事だと気づききっかけになった。国際協力と聞くと、とても大きなことをするように思える。だが、まだ中学生の私が日本にいて出来ることは本当に小さい。しかし見方を変えれば、身近にきっかけを作る機会はあると思う。私はこれからも出来る限りのボランティアと小さな発信を続けていく。その上で大切にしたいことがある。それは現地の人の視点で考え、相手を尊重することだ。これは JICA 海外協力隊としてジンバブエで活動された、中学一年の時の担任の先生から教えて頂いたことだ。相手の気持ちになって自分が力になりたいという思いやりの心が繋がって行くことで、世界中に笑顔になる人が少しでも増えてほしい。あの日見たフィリピンの子の目の輝きを胸に、両親や周りの人達に感謝しながら世界と繋がっていきたい。

今後の予定

- ・オープニングキャンプ : 7/10~11 (土~日)
- ・1 期日和田学童キャンプ : 7/26~31 (月~土)
- ・2 期日和田学童キャンプ : 8/2~7 (月~土)
- ・中部部会 at 日和田高原 : 9/11 (土)
(参加要領についてはその他 4. 参照)

その他

1. 7月の誕生日

happy birthday

- 坂口 久美 (6日)
- 三井 敬子 (17日)
- 青木由香里 (21日)
- 早川 弘美 (27日)



2. 日本語学院留学生支援物資応募依頼

- ・マスク・フェイスシールド/材質・サイズ問わず
- ・体温計 仕様・タイプ問わず
- ・エタノール製剤(35%以上含有品)、
- ・界面活性剤成分含有製品、
- ・次亜塩素酸水(80ppm 以上品)
- ・除菌用ウエットティッシュ
- ・使い捨て手袋(食品衛生法適合品)
- ・その他、留学生へ支援となるもの
- ・インスタント麺、缶詰、乾燥品等らとその他、日持ちする食品類。

※ 遠藤担当主事へ各自持参してください

3. 2020-2021年度 中部部会案内第2報

・中部部会参加要領



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
REGION 9 ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

2021-2022 中部部会案内(第2報)

コロナ感染の拡がり収まらず、緊急事態宣言の延長が決まりましたが、部会は、ワイズメン、メネットが一層に集い、親睦を深め、ワイズの未来を語り合う とて興味深いプログラムです。秋には、コロナ感染も一定程度収まるものと信じ、準備をすすめております。一人でも多くの皆さんの参加で盛り上げて頂ければと願っております。

部会テーマ **楽しくやろう 大自然の中で YMCA と共に**

- 日 時 2021年9月11日(土) 午後1時~4時
- 会 場 名古屋 YMCA 日和田高原キャンプ場
(岐阜県高山市高根町日和田 1752-71) 木曾福島駅から送迎あり
- 主な内容 式典、野外料理、ユースと共にアクティビティ
YYY フォーラムとして実施、また、野外料理は産直品をつかった手作り料理が楽しみ
- 登録費 6,000円



2021-2022 中部部長 渡辺 真悟
ホストクラブ:名古屋クラブ 協力:名古屋 YMCA、名古屋東海クラブ、名古屋南山クラブ
名古屋グランパスクラブ・金沢クラブ・とやまクラブ
※ 詳細につきましては、裏面をご覧ください。※

4. その他

休会させていただきます

青木 哲史

昨年7月に復活してからまだ一年ですが、再び休会させていただきます。現在仕事は、前社の顧問、中小企業の監査役、大学非常勤の三つです。大学関係で岐阜県からの仕事もあり、また監査役の関係で日本監査役協会の研修講師も三年目になります。

今年10月で前期高齢者になります。平均寿命を考えると後20年！残り時間をどれだけ社会に貢献できるかと考え、介護・福祉関連の勉強を始めました。まだ健康な内に出来る限りの挑戦は続けたいと思ひ、休会のご了承を宜しくお願い致します。

5. 例会等出席状況

	氏名	6 / 11 第一例会・WEB例会	6 / 15 第二例会・WEB例会	6 / 5 ~ 6 西日本区大会	6 / 23 セカンドハーベスト
1	青木 哲史	○			
2	阿部 一雄		○		
3	荒川 恭次	○	○	○	
4	遠藤恵美子	○	○		
5	坂口 功祐	○	○		○
6	信田伊知郎	○			
7	下村 明子	○	○	○	
8	高田 士嗣	○	○		
9	服部 庄三	○	○		
10	早川 政人	○	○	○	
11	坂野 清治	○	○		
12	松原 行謙		○		○
13	三井 秀和	○	○		
14	吉田 一誠	○	○		○
15	原 晃		○		
	ゲスト			1	
	計	12	13	4	3

〇ここから自由投稿です。

今年もワイズサクランボ

荒川恭次

今年も東北から届きました。東日本大震災復興支援の一環で毎年東北ツアーがありましたが、今年は新型コロナ禍の影響が東北まで及んで、ツアーは中止となりました。しかし、仙台青葉城クラブの加藤さんからは例年通りワイズサクランボの販売案内がありました。今年も冷害により収穫量が減りましたが私と孫たちの手元には変わらず甘いサクランボが届きました。



2回目のワクチン接種完了

荒川恭次

5月30日の第1回接種に続き、6月20日に第2回目の新型コロナワクチン接種を受けました。1回目と同様の近くの西前田小学校で、14時45分予約で行くと前回同様高齢者がたくさん集まっていました。今回も肩が筋肉痛のようになりましたが、それに加えて発熱こそありませんでしたが、倦怠感が2日ほど続きました。しかしこれでワクチン接種証明書を確保できました。

歴史の1ページを記録することができました。



接種会場は高齢者ばかりです。